

授業改善書

科目名	教育心理学
担当者	尾形和男

授業の概要

教育心理学の意義・目的、内容・領域について概観すると同時に、教育・保育に関わる、子どもの発達、子どもが主体的に取り組める授業・保育の展開、教師・保育士のリーダーシップ、学習の評価、障害児の理解と支援について学ぶ。また、家庭との連携による子どもの成長・発達も考える。

授業の問題点

教育心理学の講義を3クラスに実施したが、クラスごとに評価に差が見られた。授業内容としては同じことを伝えているものの、各クラスの受講者の受け取り方に差異があることが改めて確認できた。これは、各学生の興味・関心の違いなどによる面もあるが、伝え方も影響しているものと思われる。

また、授業に対する学生の学習態度の、授業外学習(予習・復習)については低く、オンラインと対面式授業の併用の中で、オンラインを予習、対面式を復習として進行することにより理解を深める方法の検討も必要と思われる。

学生の授業満足度

概ね満足度は確保されているものと思われる。しかし、クラスによっては違いがあり、授業の問題点に示したように、出来る限り高い満足度で安定させたいと考える。

授業改善の課題と方策

授業の問題点にも触れたように、予習・復習を定着させるためにオンラインと対面式授業の併用の中で、オンラインを予習、対面式を復習としての位置づけすることにより理解をより深める方法の検討も必要と思われる。

同時に、クラスごとの差異を減らすために、授業内での学生の興味関心の程度や理解度を把握するための工夫を検討したい。そのためには各授業の終わりに、確認テストや質問時間を別に取り取ることも必要と考える。

その他

特にはなし。